

□令和7年度スローガン
笑顔あふれる
「み」みつけよう夢を
「た」高めよう志へ
助け合おう友と

「ち」知恵と
「や」やる気と
「ま」真心で

【「御館っ子らしさ」の3本柱】

～いつでも・どこでも・だれとでも～
～学びをつなげる～
～何ができる? どう動く?～

【ガンバル御館っ子】

第26回全国小学生ABC
バドミントン大会
(長崎県予選大会)
男子B 準優勝
T&M 黒木陸翔



諫早市U12ミニバスケットボール
春季交流大会
優勝

御館山女子ミニバスケットボールクラブ



諫早市U12ミニバスケットボール
春季交流大会
第3位

御館山男子ミニバスケットボールクラブ



令和7年度の御館山小学校スローガンについて(2)

前号で、今年のスローガンである『笑顔あふれる「み」「た」「ち」「や」「ま』と、その達成に向けた3本柱を、

- ①「いつでも・どこでも・だれとでも」
- ②「学びをつなげる」
- ③「何ができる?」「どう動く?」

としたことをお伝えしたところで『以下次号』となっております。

そこで今号では、「シリーズR7御小スローガンその2」として、

3本柱の1つめである「いつでも・どこでも・だれとでも」についてお話したいと思います。

この「いつでも・どこでも・だれとでも」は、一昨年度の3学期から重点課題としているもので、目標として、子どもたちにずっと呼びかけてきているものです。

学校は、様々な体験を通して、様々な学習をするところです。

もちろん、知識や技能を獲得し、それを活用できるようになる…、活用しようとする意識を高める…、いわゆる学力を高めていくこと(学力向上)は、とても重要な学びです。

しかし、それが全てではありません。

子どもたちが将来、安心安全な社会の担い手として…、

もっと、身近なところで言うと、家族、仲間、職場、その他のコミュニティにおいて…、

安心して、互いが気持ちよく暮らせる関係性を築くために、

子どもたち自身が身に付けるべき社会性および人間性を学ぶところ…、

それも学校の大きな役割の一つです。

これまで何度もお伝えしているように、

本校の子どもたちはとても明るく、素直で、やる気に満ちた子たちです。

それは、PTA総会でもお話しさせていただいた『御館っ子らしさ』と言えるものです。

しかし当然ですが課題もあります。

その重要な一つが、『**他を思いやる心の育成**』です。

これは、本校児童に限ったことではなく、どの学校でも…、いや社会全体に見られる大きな課題です。

「自分が発した言葉や、取った行動が、周囲にどんな影響を与えるのか?」

「自分が取ろうとしている行動が、相手をどんな気持ちにさせるのか?」

そこに思いを致すことなく、相手を傷つける発言や行動が、

特に匿名性の高いSNS上等では横行しているのが現状です。

本校においても、不用意な一言で仲間を傷つけたり、

自分でも気づかないうちに、人や場所によって言葉や態度が変わっている…、

というようなケースは残念ながら、まだまだ多く存在します。

そこで、これまでも『いつでも・どこでも・だれとでも』というフレーズで、

どんな時でも、どんな場所でも、誰に対しても、同じ様な態度が取れるようにと、全校で取り組んできました。

しかし、まだまだ十分浸透していないのが現状です。

そこで、今年は「**自分の当たり前(思い込み)を見直す**」ことに力を入れて行きます。

「自分が普段、当たり前のように行っていることが、実は人を差別していることに繋がっていないか?」

「実は自分が普段何気なく使っている言葉や行動が、人を傷付けていないか?」

このような、「**普段の自分**」「**当たり前だと思っている考えや行動**」を見つめ直す機会を多く作ったり、

人権教育や**道徳教育**を通して、「実は…」を認識し心を耕す学習に力を入れたりすることにより、

お互いが他を思いやり、気持ちよく安心して過ごせる学校を目指していきます。

次号では、

・2つめの柱である「**学びをつなげる**」について

・5月2日に行われた「**歓迎遠足**」についてお伝えしていきます。

どうぞ楽しみに…(*^o^*)